



## ■【令和元年度通常総会】

元号が改まった5月25日、京都観光文化を考える会・都草の令和元年度の通常総会が行なわれました。当日の出席者(委任状を含む)は285名、全会員の7割の方が参加されました。通常総会では岸本理事の司会のもと、議長に選任された西野嘉一理事から総会開会が宣言され、下記の6つの議案が審議されました。

- |       |              |       |                |
|-------|--------------|-------|----------------|
| 第1号議案 | 平成30年度事業報告   | 第2号議案 | 平成30年度活動計算書の報告 |
| 第3号議案 | 定款変更に関する件    | 第4号議案 | 役員を選任に関する件     |
| 第5号議案 | 令和元年度事業計画(案) | 第6号議案 | 令和元年度活動予算(案)   |

事業報告および活動計算書の報告では会員事業・受託事業ともに事業が拡大、内容も充実していること、また京都新聞の連載「京都御苑さんぽ」の執筆や大覚寺戊戌開封法会など、長期にわたる受託事業も成功裏に終わったことが報告されました。

定款変更については、理事と副理事長の定数の増加が審議され了承されました。都草活動のさらなる充実を図っていけるものと考えております。

役員を選任については、3名の理事が新たに承認されました。

さらに今年度の事業計画や予算も含め、議案全て可決承認され、総会は終了しました。

なお、都草創立当初から関わって下さった林寛治監事が新たに理事会の相談役に就任されました。

(副理事長 松枝 しげ美)



## ■【講演会・懇親会報告】

今年は初の試みとして、総会后に第2部の講演会と懇親会を行い、56名が参加されました。土曜日開催ということもあり最近入会された方や関東からも多くの方が参加されました。場所を御所西の京都平安ホテルに移動、まず都草顧問の井上満郎先生に、『応仁の乱ー「破壊」のなかの「創造」ー』と題して講演していただきました。



講演後の懇親会は小松香織理事長と井上満郎顧問のご挨拶そして田村光弘専務理事の乾杯でスタートしました。

三味線の名取でプロとして活躍されている石塚みず絵会員が祇園小唄と勧進帳(長唄)など3曲を演奏、伊藤義男理事がお得意の美声で詩吟を朗詠、吉岡央会員のクイズ大会などの余興もあり、熊谷喜輝副理事長の閉会挨拶、須田信夫副理事長の一本締めでお開きとなりました。(副理事長 須田 信夫)

## 令和元年度 役員の異動

林寛治監事退任後相談役へ、高橋明俊副理事長退任後監事へ、須田信夫理事は副理事長へ、そして新たに3名の理事が就任いたしました。

### ■新任理事「自己紹介」



この度、理事に就任させて頂きました岩崎勉と申します。誠に光栄に存じますと同時に、重責に身の引き締まる思いでございます。法人業務を担当いたします。

都草には、平成19年（2007年）8月に入会しました。団塊の世代に属し、昨年6月にサラリーマン人生を卒業したこと等を節目に、休眠会員を脱して本会の活動に出来る限り、参加したいと思っていた次第です。その後、ご縁を得て、『月刊京都』への連載「京都ふしぎの玉手箱」プロジェクトチームと京都検定対策委員会のメンバーとなりました。

15年前に東京から京都の実家に戻り、京都五山送り火の妙法のムラ、左京区松ヶ崎に住まいしています。

新元号「令和」の時代を展望しながら、京都の歴史・観光・文化を学ぶ人々の集う都草の更なる高みの実現を期して、微力ながら精一杯務めて参ります。会員の皆様のご支援とご指南の程なにとぞよろしくお願い申し上げます。（理事 岩崎 勉）



令和という新しい元号になったこの5月に理事を拝命し、都草との不思議なご縁を感じております。新たな気持ちで、会員の皆様の活動がより充実した楽しいものになりますようお手伝いをさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。都草に入って3年の間、主に広報や歴史探訪会東部に関わってまいりました。拙いながら、いろいろな所のガイドも担当させていただいております。

都草に入ったきっかけは、遡ればこどものころに行きつきます。北関東の片田舎に生まれた私は、小さいころ母に連れられてよく映画館に行きました。掛かっていた映画はいつも東映時代劇。往年のスターたちの繰り広げるチャンバラに一喜一憂したものです。最後の「終」の字が浮き出た時の嵐のような拍手。今では見ることのできないよき時代でした。

そんな体験と相まって、私の関心は自然に日本の文化に導かれました。大学を卒業したとき、京都に一人旅をして、まさに「日本がここにある」という新鮮な感動を覚えました。それから40年以上この街で暮らしています。そんな京都の魅力を発掘し、少しでも多くの人に伝えていこうとする都草は、私にとって必然的な出会いの場であったと感じています。そのささやかな一助になれば、私にとっても幸甚の至りです。

（理事 植山 政雄）



この度、新しく理事に就任させていただくことになりました、豊田博一と申します。社会関連協力事業を担当することとなりました。

上京区役所に勤務していた時に、坂本顧問に知己を得、それ以来都草の皆様がたくさんのご協力を得てきました。都草の様々な魅力ある活動に惹かれ、5年前に入会しましたが、再就職したこともあり活動にはあまり参加することができずにおりました。今年4月に退職し自由な時間が持てることになり、都草の活動に積極的に参加できると喜んでいたところ、図らずもお誘いがあり大役をお引き受けすることとなりました。

微力ではありますが、誠実にかつ楽しみながら、都草の諸活動のお手伝いをしていきたいと思っておりますのでなにとぞよろしくお願い申し上げます。（理事 豊田 博一）